# 事務局便り

第９４号（令和３年１２月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

## 巻頭言

１０月の総選挙では、自民党単独で過半数を獲得し、「立憲共産党政権」の悪夢は雲散霧消、また、健全野党の「日本維新の会」も大躍進、日本国民の良識が示され、一安心という所でしょうか。

反面、本会にご協力頂いている先生方の落選には心が痛みます。ご奮起をお祈り致します。

何にしても我が国は憲法改正を含む「自主防衛努力１００倍化・１０００倍化」が喫緊の課題でしょう。

１０月、１１月は２大慰霊行事を実施しました。武漢ウィールスはまだ完全には撲滅し得ていませんが、感染防止対策を完全にし、例年にも増して盛大に実施できたものと満足しています。

また各地でも慰霊行事が行われ、参加させて頂きました。

さて、年齢と共に時の経つのがことの他速く感じられ、今年も早や師走を迎え、会員各位におかれましては、そろそろ新春を迎える準備を始められる頃かと拝察いたします。

武漢ウィールスの残渣もありますが、来る令和４年が皆様にとり、明るい良き年になりますようご祈念申し上げます。　（加賀本）

## 案内事項

### 令和４年１月理事会案内

令和３年度第３回理事会は、１月２７日（木）１６：００～１７：００で開催を予定しております。理事の方には、別途ご案内致します。

万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、その後１８：００からは歴史研究会を実施します。

なお、出欠のご連絡は、１月２１日（金）までにご連絡ください。

Tel.：078-952-3063　携帯：090-3844-3296

Mail：dfquk007@kcc.zaq.ne.jp

担当　熊谷

### １２月度・令和４年１月度歴史研究会

１２月・令和４年１月度は、以下で予定しております。何方でも参加できます。また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)

大阪駅前第１ビル 11 階南側です。

多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、４日前までに加賀本までご連絡ください。

必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。申し訳ありませんが、直前４日以内のキャンセルについては、軽食費用を申し受けます。

【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

担当　加賀本

℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877

Mail：akio@room.ocn.ne.jp

### １２月度

**日時：１２月１６日（木）　１８～２０時**

内容：『中国に侵略されたアメリカ』です。

田川顧問に担当して頂きます。

著者は、山口　敬之氏です。

1966 年（昭和 41 年）、東京生まれ。フリージャーナリスト・アメリカシンクタンク客員研究員。

現地取材故に見えてきた腐敗と不正義という暗澹たるアメリカ！！

「大統領選挙」で蠢いた中国の「赤い思惑」

BLM デモを指揮する中国人と、都合の良すぎる各地の同時多発デモ。

・共産主義者の巣窟と化したサンフランシスコ
・「BLM 支持」という同調圧力
・圧殺された「武漢流出説」
日本の大手メディアが伝えない、蹂躙されたアメリカの姿を、まずはカリフォルニアの地から浮き彫りにしています。
そして日本は・・・・
大いにディスカッションしましょう。

令和４年１月度
日時：１月２７日(木)　１８～２０時
内容『「中国癌との最終戦争:人類の未来を賭けた一戦』
著者は林建良（りん・けんりょう）氏です。
1958 年（昭和 33 年)、台湾・台中市生まれ。
現在、メルマガ「台湾の声」編集長、日本李登輝友の会常務理事、日米台関係研究所理事です。
中国は、生物原理の「譲り合いの精神」を持ち合わせず、「俺さえ良ければそれでいい」という自己中心的な癌細胞とそっくりだと解析し、警鐘を鳴らした前著『中国ガン』から 8 年、習近平体制下で起こった新型コロナ肺炎（武漢ウイルス）の世界的蔓延により、中国の癌体質を世界がようやく認識するようになったと指摘する。
中でも、その深刻さに気づき、40 年も続いた対中宥和政策を転換、中国との対決に舵を切ったのが米国のトランプ政権で、中国に貿易制裁を加えることで始まった米国のパラダイム転換を裏づける説得力に富む解説を展開している。
一方、日本は自主防衛や憲法改正を成しえない原因は独立心の欠如にあると指摘するも、李登輝元総統が示した「日台共栄」の理念に言及、日本を励まし続けた理由を明かしつつ、日本こそ中国癌を無害化できる「矛」を持っていると説く、日本覚醒の書である。
大いにディスカッションしましょう。

令和３年度会費納入のお願い
会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。
本年度会費未納の方は、当会の財政的窮乏をご明察の上、９３号に同封しておりました「近畿偕行会（00900-6-29358）用「払込取扱票」にて振込みの程、宜しくお願い致します。
疑問のある方は下記までお問い合わせ下さい。
会計担当：加賀本昭雄
℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp 担当　加賀本

会員増勢のお願い
ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。
令和２年度末で、会員数は１４０を割りました。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！
◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！
◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！
ご協力を衷心よりお願い致します。
情報を頂ければ、事務局で対応いたします。
担当　加賀本

報告事項
偕行社全国会長会同及び総会報告
全国会長会同は、２年ぶりに１０月７日(木)に実施されました。本会から加賀本が参加しました。
まず全員で靖国神社を正式参拝しました。
会同は、「体制移行に係る検討状況」の説明とそれに伴う「偕行社と各地偕行会の協力要領」について意見交換が実施されました。

新たな偕行社の在るべき方向（理念）は、
「陸軍とこれまでの偕行社の良き伝統を受け継ぎ、英霊の慰霊顕彰を行うと共に、我が国の防衛に関する諸問題の是正を目標として陸上自衛隊に対する支援を活動の中心におく」とされた。

１．会　　員
陸上自衛隊退職幹部自衛官によって偕行社を支える態勢を確立する。
２．財務・資産
新社屋の購入や事業関係費の削減により財務の収支均衡を図る。
偕行社と各地偕行会の関係については、当面現状の緩やかな協力体制とし、新体制確立後は、一体化を含み更に検討するとされた。
当会としては特に財政的に「入るを量りて、出ずるを為す」を徹底し、当面の自立策を継続・努力する必要があります。
偕行社総会は、翌１０月８日(金)１１００からグランドヒル市ヶ谷で実施されまた。
吉田陸上幕僚長から「時代の大転換期における我が国の安全保障と陸上自衛隊」の講話がありました。
現国難下・AI 等新技術への対応を含む戦略・戦術思想、兵器体系等の改善検討等、広範多岐に亘る任務達成に努力している現役自衛官達の健闘を祈らずにはおられません。
懇親会は、武漢ウィールス禍のため中止されました。
担当　加賀本

## 第１３回特攻勇士慰霊祭

１０月２４日（日）１１：００から第１３回特攻勇士慰霊祭を大阪護国神社に於いて厳かに執り行いました。
異常気象の寒気も収まり、当日は絶好の秋晴れとなり、テントの展張も中止し、青空天井、爽やかな日差しを浴びながらの祭礼となりました。
最後に「武漢ウィールスをブッ飛ばせ！！」とばかりに「海ゆかば」を自衛隊音楽隊の生演奏の下、大合唱し、終了しました。

盛装なった特攻勇士慰霊像

祭礼は、総選挙中にもかかわらず衆議院議員佐藤章・中山泰秀両氏の代理出席のご配慮を賜り、関係団体・理事・近畿偕行会会員有志等多くの方のご出席を頂き、盛大な慰霊行事を実施する事が出来ました。
また、当日急遽参加された草莽の女性２名が本会の活動趣旨に賛同され、今後共に活動頂ける事となったのも望外の喜びでした。

ご英霊の御霊に深く頭を垂れて

また、自衛隊信太山駐屯地音楽隊・第３６普通科連隊ラッパ隊の慰霊演奏も実施し得てご英霊を十

分にお慰めでき、ご参加できなかった方々の思い入れも込めた例年以上の盛大な慰霊行事になったものと思料します。

信太山駐屯地音楽隊の慰霊演奏

残念な事ですが、例年参加いただいていた船舶特別幹部候補生第１期生の中溝二郎様は、本年夏にご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

また会場の準備・撤収作業に於いては大阪護国神社の皆様、受付業務に於いては「あさなぎ」の皆様に多大のご支援を頂き感謝申し上げます。

また、ご参加できなかった方々からも多くの志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当　加賀本・熊谷（写真提供：岸岡サトミ様）

## 令和３年度パール判事顕彰献花祭

１１月２７日（土）令和３年度パール判事顕彰献花祭を京都霊山護国神社に於いて実施しました。

在大阪・神戸インド総領事代理サンジーヴァ・ジャイナ領事をお招きし、関西防衛を支える会・京都府偕行会・京都府隊友会・近畿偕行会各会長及び各会会員有志等多くの方の参加を得て盛大に催行しました。

終了近くに時雨もありましたが、秋晴れの寒気もキリットした心地良き日の中での実施となりました。

まず、１１：００から本殿に於いて大東亜戦争及びインド独立戦争戦没者慰霊の「日印合同戦没英霊慰霊祭」を挙行しました。

日印合同慰霊祭後本殿前にて

事後、特攻勇士慰霊像参拝、１１：３０から顕彰碑前でパール判事に感謝を捧げると共に我が祖国日本の弥栄を祈念し、参加者全員による献花を実施しました。

顕彰碑への献花風景

なお、直会は中止としましたが、来年度は、直会を含め、更に充実した献花祭にしたいと考えております。

また、ご参加できなかった方々からも多くの志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当　加賀本・熊谷

## 賛助会員　荒木正則氏
## 「シベリヤ抑留記録・文化賞」受賞

シベリヤ抑留者支援・記録センターが毎年１回シベリヤ抑留の記録や表現などに関わる分野で功績のあった方に贈る「シベリヤ抑留記録・文化賞」において本年度（第７回目）の功労賞を当会賛助会員荒木正則氏が受賞されました。

心からお祝いを申し上げたいと思います。

荒木氏は満州関東軍石頭予備士官学校（牡丹江南40ｋｍ）13 期候補生で、昭和 20 年 8 月 9 日中立条約を破棄して宣戦布告したソ連軍大戦車部隊に爆薬を抱えて肉弾となって突っ込み 850 人中 750 人が壮烈な戦死を遂げました（磨刀石の戦い）。

幸いにも死を免れた荒木氏はその後、ソ連に 3 年間抑留されましたが、磨刀石での激戦に続いてのソ連抑留生活は極度に心身をさいなむものでした。

そして帰国後は、シベリヤ抑留での犠牲者の慰霊と遺骨収集に余生を捧げられました。

付言すれば、上記の石頭予備士官学校第 13 期生の壮烈な戦死は、特攻以外の何物でもないとの認識に基づき近畿偕行会として大阪ご出身の 13 名を特攻勇士として平成 24 年から大阪護国神社の「特攻勇士慰霊像」に合祀して、毎年１０月下旬に慰霊祭（本号３頁参照）を執り行っています。

なお、「磨刀石の戦い」については、同期の生存者南雅也氏の著書『われは銃火にまだ死せず』（昭和 53 年　泰流社刊）があります。

読書希望者は田川まで連絡ください。

担当　田川（T/F：0798-67-6420）

## 賛助会員　市村浩一郎氏
## 衆議院議員当選

今次総選挙に於いて、賛助会員の市村浩一郎氏（日本維新の会）が、苦節９年、衆議院議員に見事復活当選されました。

憲法改正等へのご尽力等、今後のご活躍を祈念いたします。

担当　加賀本

## 会外行事参加報告・紹介案内
## 参加報告
## シベリヤ満蒙戦没者慰霊祭

シベリヤ満蒙戦没者慰霊祭が、１０月３日（日）１４：００から源平合戦ゆかりの古刹「須磨寺」で秋晴れの下、厳かに執り行われました。

シベリヤ満蒙戦没者慰霊碑（須磨寺）

本会から加賀本・熊谷、吉村伊平氏・岸岡サトミ女史の４名が参加し、いわれなき戦火・虜囚抑留の果て酷寒のシベリヤ満蒙の地で非業に倒れた「御霊よ安らかなれ」との祈りを捧げました。

担当　加賀本（写真提供：岸岡サトミ様）

## 第２７回全国戦没學徒追悼祭

１０月２１日（木）１１時から淡路島戦歿學徒記念「若人の広場公園」に於いて、第２７回全国戦没學徒追悼祭が催行されました。

追　悼　祭　会　場

好天にも恵まれ、やや肌寒いながらも　爽やかなそよ風の吹く南淡路山頂「若人の広場」に、陸海自衛隊高官初め、例年通りの多くの人が参加して、厳かに執り行われました。
全国の戦没学徒は「学徒」だけに、殆ど子孫がいませんから供養も追悼もされず忘れられてしまいそうな昨今です。
家族や故郷や國のため等、多くの思いを抱いて日本の指導者として未来を担うはずのエリート学生達がペンを銃に持ち替え戦い、戦死されました。
「永遠に忘れじ！！」
今後もご英霊に対する感謝と慰霊を忘れてはならないとの念を深くした次第です。

神楽奉奏「みたま慰めの舞」

また、元会員の故守屋啓君（防大１８期）が、昨年の参加所見で、会場上空を多くのトンビが舞っていたと語ってくれていましたが、今年は残念ながら来てくれませんでした。
担当　加賀本

## 紹介案内

今期の紹介事項はありません。

## 和歌山偕行会便り

この一年を振り返ると、武漢コロナの恐怖報道と総選挙がハイライトでした。この記事を記述しているのは 10 月下旬ですが、皆さんが記事を見られるのは、新内閣が発足して約２ヶ月経っている頃でしょうか？与党は恐らく 30 議席位減らすものの与党に対して具体的で建設的な対抗政策を示し得ない非力な野党のお陰で、政権を維持していることでしょう。選挙戦を観察しても、野党の掲げる政策は、「自民党の総裁選における候補者の政策」の域を出るものではありませんでした。野党が真っ当でないと健全な政治にはなりません。国内外情勢を慮ると、政治のテーマは、高市早苗政調会長の主張通り、「国を守る責任」と「時代を拓く覚悟」を掲げての「美しく強く成長する国造り」以外には考えられません。来年こそ、明るい日本の未来の第一歩になることを祈るばかりです。(前会長　奥野耕三)

## 編集後記

いよいよ冬を迎えます。武漢ウィールス禍も未だ完全には克服し得ていない状況でもあり、ご高齢者の多い当会の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。
本年のご協力を感謝申し上げますと共に、御家族揃って素晴らしい新年をお迎え下さい。
来年もご協力の程よろしくお願いたします。
担当　加賀本

**近　畿　偕　行　会**
会　長　　加賀本 昭雄

編集責任者　熊谷　勉
〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201
Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97
Tel:072-785-8954